

No. 1432

世界経済再活性化へ

—ベルサイユサミット—

第8回先進国首脳会議出席のためパリ入りした鈴木首相は、6月4日会議に先立ち、レーガン米大統領と個別会議を行った。会談ではレーガン大統領が我が国の防衛予算増額に謝意を表明、これに対し鈴木首相は今後も一層の防衛力強化を図る意向を示した。先進国首脳会議の舞台となったパリ郊外のベルサイユ宮殿。翌6月5日朝、会議会場に到着した鈴木首相。ミッテラン・フランス大統領が笑顔で鈴木首相を出迎えた。勢ぞろいした西側先進各国の首脳。本会議では「科学技術」「マイクロ経済」のふたつのテーマを中心に討議が行われた。「科学技術」ではミッテラン大統領が世界経済の再活性化に欠かせない要件であることを提唱したのに対し、各国首脳はこれに賛意を表明、今後、協力体制を検討することで一致した。「ベルサイユ宣言」を採択して閉幕した今回のサミットは科学技術の重要性を打ち出すなど長期展望に踏み出したものの当面の経済再建策については対立を残したままの厳しい結果に終わった。

美濃陶芸展

—岐阜・関—

岐阜県関市の岐阜県立博物館では、いま美濃陶芸展が開かれています。この展示会は美濃陶芸協会が開いたもので今回で9回目、会場には会員の作品80点あまりが展示されています。作品のひとつひとつは作者のおう盛な研究心とたゆまぬ努力によって開化したものばかりです。桃山時代から受け継がれ、日本人の心に生きる美濃陶芸、その伝統は脈々と続いています。

ロッキード疑獄

政治家被告に有罪

航空行政にからみ全日空からワイロを受けたとして、受託収賄罪に問われたロッキード疑獄・全日空ルートの政治家被告、橋本登美三郎と佐藤孝行に対する判決公判が6月8日、東京地方裁判所で開かれた。橋本は、運輸大臣だった昭和46年1月、全日空社長、若狭得治から日航の大型ジェット機の投入を延期するようとの請託を受け、その報酬と知りながら現金500万円を受けとったというもの。また佐藤は、運輸政務次官だった47年4月、大型ジェット機の国内線導入時期を、49年以降にするなどの請託を受け、現金200万円を受けとったというもの。判決では橋本、佐藤両被告は、全日空社長、若狭の請託を受け全日空寄りの航空行政を行い、それぞれ500万円、200万円を受領したと認定、新谷裁判長は有罪の判決を言い渡した。判決後記者会見で橋本は「誠に意外な判決だ、私は無実だ」と不満をあらわした表情で語った。「橋本・佐藤両被告に有罪判決」のニュースが東京地裁から伝えられた時、東京目白台にある田中角栄元首相の私邸は静まり返り、人の動く気配もなかった。がロッキード疑獄の頂点、元首相田中角栄被告に最も脅威となる金銭授受を裁判所が認めたことによって、田中は大きく追い詰められた。